

林

史

第貳號 參卷 第

大正四年一月一日發行

年四回

要

目

東洋古銅器の化學的研究	理學博士 近重 真澄
文藝復興期の儒風	文學博士 三浦 周行
服飾に現はれたる室町時代の社會的傾向	櫻井 秀
高麗太祖の薨後に於ける王位繼承上の一悲劇	文學士 池内 宏
輓近に於ける東洋史學の進歩	文學士 羽田 亨
考古學の葉	文學士 濱田 耕作
畫人傳說の解釋(光琳と破笠)	文學士 福井利吉郎
支那歷遊記略	文學博士 松本文三郎
君府の思ひ出	文學博士 坂口 昂
度會家行の勤王に關する史料	大西 源一
武者修行に就て	下川 潮

史學研究會 大科文學大學帝都

目 次

口 繪 近重博士「東洋古銅器の
化學的研究」附圖三葉

—光琳と破笠—

畫人傳說の解釋 文學士 福井利吉郎(五五)
支那歷遊記略(下) 文學博士 松本文三郎(一〇七)

研 究

東洋古銅器の 理學博士 近重

眞澄(一) 度會家行の勤王

に關する史料 大西 源一(一三〇)
君府の思ひ出(第二回) 文學博士 坂口 昂(一三三)

文藝復興期の儒風(下) 文學博士 三浦 周行(三六)

武者修行に就て(中) 下川 潮(一三七)

叢 説

服飾に現はれたる室町時代の社會的傾向 櫻井 秀(五五)

圖 書

(一四二)

高麗太祖の薨後に於け文學士 池内 宏(さ)

雜誌(一五二)

輓近に於ける東洋 文學士 羽田 亨(一六)

彙 報

史學の進歩(下) 文學士 羽田 亨(一六)

久原氏墓集圖書の寄託○日向の原史時代遺跡調査○史學研究會○
讀史會○支那學會○名古屋史談會○熊本縣史蹟調查學業

叢 雜

考古學の葉(第二回) 文學士 濱田 耕作(五六)

君府の思ひ出(第一回) 文學博士 坂口 昂(一三三)

會 報

前 號 目 次

口繪 後水尾天皇宸翰

研 究

- 文藝復興期(上) 文學博士 三浦 周行(一)
の儒風(上) 文學博士 三浦 周行(二)
二十八宿の……………理學博士 新城 新藏(八)
傳來を論ず……………

叢 説

- 中學校に於ける歴史科
の沿革並に其教育的價 文學博士 小西 重直(四)
値に就て
- 輓近に於ける東洋 文學士 羽田 亨(五)
- 史學の進歩(上) 文學士 羽田 亨(五)
- 平安朝神道の一側面 河野 省三(五)
- 雜 築
- 考古學の栄(第一回) 文學士 濱田 耕作(五)

支那歷遊記略(上) 文學博士 松本文三郎(五)
君府の思ひ出 文學博士 坂口 昂(九七)

耶蘇信徒の墓碑 文學博士 新村 出(一〇八)
島進入に就て 陸軍歩兵中佐 竹内 繁喜(一一三)

加藤清正の間 下川 潮(一二四)
武者修行に就て(上) 下川 潮(一二四)

昨年の史學地理學界

史學界 (一三五)

地理學界 (一三五)

叢 誌

京都帝國大學行幸及天寶品○贈位○松岡氏舊藏神道書類の購入
○史學研究會○讀史會○支那學會○豐公紀念展覽會と同講演會
○第三回大藏會○名古屋史談會

會 報

史學研究會規則

第一條 本會は史學研究會と稱す。
第二條 本會は同志の士相集まり史學に關する研究をなすを以て

第三條 本目的の達成のため、本會の事業概況の如き、会員の調査、会員の名簿等の管理等に付する。

本會に評議員若干名委員若干名書記一名を置く

第五條 評議員は會員中より之を推選し委員及書記は評議員のを嘱託又委員又書記の任期は一ヶ年とする但し再任するこ
とを准許す。

第六條 許諾員及委員及書記の任期は一公年とする。但し再任する場合は得てよい。
第七條 平議員は會務を指導し委員は編纂會計庶務等を掌す。

第八條 例會を開く會場等は其都度之を定む
第九條 每年十一月に於て總集會を開き平議員の選舉及會務の報

第十九條 會費は年々、金壹圓五拾錢です。

第十二條 会員の紹介を以て申込むべし

評議員

文學博士

文文文文文文文文文文理
學學學學學學學學學學
士士士士士士士士士士

同同同同同同委員
書記

梅下有植中那西三坂桑内小富濱原羽今
原田 村村波田浦 原藤川岡田 田西
高 清 直 虎 暁
末禮 之 直利一 周 臨 大 祐謙耕
治佐巣助勝貞郎 行 昂藏耶治藏作耶亭龍
會編纂擔任 (編纂擔任) (編纂擔任)
會編纂擔任 (編纂擔任) (編纂擔任)
計算算算算算算算

許複不
禁轉載

史林定價

一冊參金五拾錢
送一冊參金五拾錢
四冊前金壹圓五拾錢
都帝國大學文科大學內
振替口座大阪壹四五五六

京都帝國大學文科大學內
史學研究會
振替口座大阪臺四五五六

編輯者 植村清之助
神戸市元町五丁目二十三番屋敷
發行兼 印刷者 柏佐一郎

東京市田本喬畠本石町三、十七番

發行所

寶文館

東京市日本橋區本石町三、十七番地
寶文館 振替口座東京一八〇番

發行所

文館

